

令和 5 年度

学校評価

集計結果

学校評価委員会

令和5年度 北海道帯広聾学校 学校評価（教職員）集計

配布数 21

評価項目：A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

回収数 21 回収率 100%

項 目			評 価 項 目					A	B	C	D	E	R5	R4	比較
								4	3	2	1	0			
教育の重点について			(1)	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。				3	17	1	0		3.1	3.3	↓
			(2)	主観的・客観的・共感的な理解に基づく実態把握と聴覚障がい教育の専門性の充実に努める。				5	16	0	0		3.2		
			(3)	発達の連続性を踏まえ、一貫性のある教科指導力・生徒指導力の向上に努める。				4	17	0	0		3.2		
			(4)	他の障がい種の知見を広げ、子どもたちの特性を踏まえた指導・支援に努める。				3	18	0	0		3.1		
			(5)	教育的効果を図ったICT活用等による授業改善及び授業実践に努める。				3	16	1	1		3.0	3.2	↓
経営の重点について			(6)	安全で安心な学校の環境づくりと指導の充実（防災・防犯、食育、学校保健、新型コロナウイルス感染予防）に努める。				7	14	0	0		3.3	3.3	—
			(7)	地域や関係機関及びろう・難聴者との連携強化に努める。				2	17	2	0		3.0	3.2	↓
			(8)	「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会）を活用し、社会に開かれた学校づくりと地域と連携した教育活動に努める。				2	18	1	0		3.0		
			(9)	教職員が自ら効率的な働き方を捉え、健康を維持し、質の高い教育実践に努める。				3	16	1	1		3.0		
			(10)	十勝の聴覚障がい教育のセンター的機能の発揮に努める。				7	14	0	0		3.3	3.4	↓
学校運営について	1	学校経営について	(11)	学校教育目標の実現に向けて、各分掌・学部で重点目標、具体的方策、年間計画が設定されている。				10	11	0	0		3.5	3.4	↑
			(12)	学校の教育理念や幼児児童生徒、保護者、地域の実態を考慮して経営方針・教育方針を設定している。				7	14	0	0		3.3	3.4	
			(13)	保護者や地域へ、積極的に学校情報を発信し、相互の理解や協力を深めている。				9	12	0	0		3.4	3.4	
			(14)	全教職員が互いに協働し、機能的、組織的な学校運営に努められている。				5	16	0	0		3.2	3.3	↓
経	2	教育課程について	(15)	教育課程は幼児児童生徒の実態に応じて適切に編成されている。				8	13	0	0		3.4	3.2	↑
			(16)	幼児児童生徒の活動や学習については、客観的な評価や評定などが行われている。				5	16	0	0		3.2	3.5	↓
			(17)	学習指導要領の内容を理解し各教科・領域ごとの年間指導計画が作成され実施されている。。				6	15	0	0		3.3	3.4	↓
			(18)	学校行事は、幼児児童生徒の実態や学習のねらいなどに即して適切に実施されている。				8	13	0	0		3.4	3.4	—
			(19)	学校全体の共通理解のもと、生徒指導が進められている。				4	17	0	0		3.2	3.4	↓

営 の 重 点 に つ い て	3	生徒指導について	(20)	人権についての理解を深め、互いを尊重する意識と態度を育てる指導がなされている。	5	16	0	0		3.2	3.3	↓
			(21)	いじめや体罰を根絶する意識を高め、指導にあたっている。	11	10	0	0		3.5		
			(22)	自ら考え、自主的・創造的に行動ができ、幼児児童生徒の力が発揮できるように指導を工夫している。（児童生徒会行事を含む）	4	17	0	0		3.2	3.3	↓
	4	学校保健・食育について	(23)	養護教諭を中心に、幼児児童生徒の生活や健康状態を十分に把握し、適切な健康管理が行われている。	11	10	0	0		3.5	3.7	↓
			(24)	給食は幼児児童生徒の好みや健康などを考えて、献立や調理の工夫がなされている。	16	5	0	0		3.8	3.8	—
			(25)	日常的に、保健指導、食育指導がなされている。	11	10	0	0		3.5	3.6	↓
	5	事務・学校予算について	(26)	各種予算の透明化が図られ、学校教育目標や重点目標、経営方針に沿った予算執行が行われている。	10	11	0	0		3.5	3.5	—
			(27)	全教職員がコスト意識（費用や効果）をもって、組織的、計画的に業務に当たっている。	5	12	4	0		3.0	3.4	↓
			(28)	事務の業務は、関係する教職員と連携・協力を図りながら進められている。	12	9	0	0		3.6	3.6	—

○ 教育の重点について

- ・授業研によってICTを使った学習が広まった。
- ・生徒の実態に応じた動画の作成などに積極的に取り組むことができた。
- ・他の障害を併せ持った児童への対応について、学部で対応を共有した。教師がそれぞれの場面で必要な支援を考えるきっかけとなり、学部みんなで支援していくという意識にもなった。
- ・反省点を次に生かし、ねらいを持って授業づくりに取り組むことができたように思います。しかし、幼稚部で必要な知識はまだまだ浅く、もっと勉強が必要だなと感ずることばかりでした（口声模倣、話し合い活動、絵日記についてなど）。ICTの取り組みについてはまだ幼稚部で活用は難しいかなと思います。

○ 経営の重点について

- ・新得町の厚生協会や地域の手話サークルや卒業生などと連携して、本校の幼児児童生徒の育ちに協力をいただくことができた。
- ・小さな学校であることから、ある程度は仕方がないが、特定の教員に業務が集中している（特に分掌業務）。学級業務よりも分掌業務に時間を充てざるを得ない状況で、教員として最優先に求められる、教材研究といった授業改善に充てる時間が後回しになっている。学級担任と部長職を切り離す、分掌の構成バランス（構成人数も含めて）などの検討をお願いしたい。
- ・時間が押してしまい、研修(グループ研)や会議が休憩時間に入るのをなんとかして欲しい(なんとかしたい)。案として下校時刻を少し早めて、15時30分～16時15分を休憩にして16時15分から研修や会議を45分間で終わらせるようにする。
- ・個人的に言えばあまり難聴者との接点はなかったが、学校としては聾者、難聴者、地域の人々、職員をつなぐ役割を果たしていると感じている。
- ・地域の清掃活動を行ったり、ろうに関わるイベントを紹介したりなど、地域との関わりをより広げる取り組みを行うことができた。
- ・支援部としては、他の先生方がたくさん仕事を担って下さったので申し訳なかったです。

○ 学校運営について

1 学校経営について

- ・公教育のSNSの発信について、個人情報の保護等の視点を保ちながら、積極的に発信していくことが求められると感じている。まず、発信を行うことから始め、どのような改善点があるのか考えていく必要がある。
- ・子どもの様子について、担任の先生に情報を聞いたり、保護者の方々にも積極的に話したりすることができたと思います。

2 教育課程について

- ・行事等で児童生徒が自主的に参加できるように工夫されている。

3 生徒指導について

- ・人権について、社会科で学習すると共に、修学旅行のウポポイでの体験活動、学習発表会でアイヌ文化との共通点というテーマで実施することにより学習を深めることができた。
- ・他学部の生徒指導の様子がわからない部分もあったが、行事などでは互いに必要な配慮を理解して指導にあたっていたと思う。

4 学校保健・食育について

- ・流感などについて児童生徒たちに伝達している。
- ・PTA研修や学習発表会で「命をいただく」ことをテーマに学習を進めることができた。保護者、児童生徒、教員と十勝地域の方々との繋がりにより、みんなで本校の児童生徒を育てていく視点を持つことができた。食べることに主体的に考えるきっかけとなった。
- ・毎日のように子供たちの様子を見にきてくださりとてもいい取り組みだなと思います。

5 事務・学校予算について

- ・学校に関する状況を具にメール等で連絡している。
- ・廊下の電気について、幼児児童生徒下校後は必要最低限の明るさで良い。
- ・もっと節約を意識していけると良いと思います。教室や職員室の電気、ドアの開け閉め、購入するものの精選など。

○ その他、ご意見のある方は記入してください。

- ・今年一年色々ありましたが、ありがとうございました。次年度も向上心を持って頑張りたいと思います。
- ・物価上昇に伴い、各種検定料金も値上がりしている。市町村によっては、補助金を出しているところもある。検定料の半額補助などの検討をお願いしたい。

配布数 14

回收数 8

回收率 57.10%

評価項目		A	B	C	D	E	R5	R4	比較
		4	3	2	1	0			
(1)	学校ではいじめがなく、子どもは、楽しく学校に通っている。	7	1	0	0	0	3.9	3.8	↑
(2)	学校は、学校教育目標や年度の重点などをわかりやすく伝えている。	3	5	0	0	0	3.4	3.8	↓
(3)	学校は、保護者の願いに応えようと努力している。	4	4	0	0	0	3.5	3.8	↓
(4)	学校は、家庭への連絡などを適切に行っている。	3	4	1	0	0	3.3	3.8	↓
(5)	学校は、保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	4	4	0	0	0	3.5	3.9	↓
(6)	子どもの指導についての話し合いが、担任とよくできている。	5	3	0	0	0	3.6	3.8	↓
(7)	学習の様子は、学級通信や連絡帳、授業参観、懇談などをとおして知ることができている。	5	3	0	0	0	3.6	3.8	↓
(8)	学校は、家庭と連携して、子どもの健康保持増進に努めている。	6	2	0	0	0	3.8	3.9	↓
(9)	学校は、家庭と連携して、子どもの事故防止に努めている。	5	3	0	0	0	3.6	3.8	↓
(10)	学校は、子どもに合わせたコミュニケーションの方法で指導を行うように努めている。	5	3	0	0	0	3.6	3.8	↓
(11)	学校の日課は、子どもの実態に合わせている。	6	2	0	0	0	3.8	3.7	↑
(12)	授業は、子どもの実態に合わせてわかりやすく行われている。	4	4	0	0	0	3.5	3.8	↓
(13)	通知票は、子どもの指導のめあてや経過がわかるように書かれている。	5	3	0	0	0	3.6	3.8	↓
(14)	学校の施設・設備は、学習環境面で充実している。	3	5	1	0	0	3.2	3.3	↓
(15)	学校は、子どもの実態にあった食育指導に努めている。	5	3	0	0	0	3.6	3.7	↓
(16)	学校は、保護者への情報提供に努めている。	3	5	0	0	0	3.4	3.8	↓
(17)	教職員は、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。	5	3	0	0	0	3.6	3.7	↓
(18)	子どもに関するプライバシーがよく守られている。	4	4	0	0	0	3.5	3.8	↓
(19)	学校からの文書などについて、よく目を通してしている。	4	4	0	0	0	3.5	3.7	↓
(20)	その他ご意見等ありましたら、ご記入ください。								
	・いつも子ども達、保護者への寄り添いに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。								

配布数 3

回收数	3	回收率	100%
-----	---	-----	------

・宿題は少ない方がいい。すぐに終わるもの方がいい。※担任聞き取り

配布数 3

回收数	3	回收率	100%
-----	---	-----	------

評価項目		A	B	C	D	E	R5	R4	比較
		4	3	2	1	0			
(1)	学校に行くのが楽しい。	2	1	0	0	0	3.7		
(2)	自分からあいさつをすることができる。	2	1	0	0	0	3.7		
(3)	仲間とともに学び合う学習を行っている。	2	1	0	0	0	3.7		
(4)	先生方は教え方にいろいろな工夫をしている。	3	0	0	0	0	4.0		
(5)	先生は私たちのことをよく理解してくれる。	2	1	0	0	0	3.7		
(6)	(自分は) 敬語など正しい言葉遣いをしている。	0	2	1	0	0	2.7		
(7)	給食はおいしい。	3	0	0	0	0	4.0		
(8)	命の大切さや社会のルールについて学習している。	2	1	0	0	0	3.7		
(9)	担任の先生の他にも、気軽に相談できる先生がいる。	2	1	0	0	0	3.7		
(10)	できるだけ本を読むようにしている。	0	1	1	0	1	1.7		
(11)	規則正しい生活を心がけている。	0	1	1	0	1	1.7		
(12)	学校のことなど家族といろいろ話している。	1	0	1	1	0	2.3		
(13)	家の手伝いをしている。	1	2	0	0	0	3.3		
(14)	将来の職業(仕事)について考えることがある。	1	1	1	0	0	3.0		
(15)	1日の睡眠時間はどれに近いですか。 A: 6時間未満 B: 6～7時間 C: 7～8時間 D: 8時間以上	0	1	1	1	0	2.0		
(16)	1日のゲームやスマホを見る時間はどれに近いですか。 A: 1時間未満 B: 1～2時間 C: 2～3時間 D: 3時間以上	0	3	0	0	0	3.0		
(17)	学校以外での平日の平均学習時間はどのくらいですか。 A: 1時間未満 B: 1～2時間 C: 2～3時間 D: 3時間以上	2	1	0	0	0	3.7		
(18)	悩み事があったらどうしますか。 A: 先生に相談する B: 友人に相談する C: 家族に相談する D: 自分で調べる E: そのままにしておく	3	1	3	0	0			
(19)	意見があれば、書いてください。								